



平成 21 年 11 月 19 日

各位

会 社 名 株式会社ディー・ディー・エス  
代 表 者 代表取締役社長 三吉野 健滋  
(東証マザーズ・コード番号 3782)  
問合せ先 I R 室 長 鈴木 達也  
電話番号 0 5 2 - 5 3 3 - 1 2 0 2  
(URL <http://www.dds.co.jp>)

平成21年12月期第3四半期決算短信の補足説明について

当社は、平成 21 年 11 月 16 日に平成 21 年 12 月期第 3 四半期決算短信の開示を行いました、その補足説明として、下記のとおり経営課題に対する取組みの進捗状況をお知らせいたします。

記

当社は創業以来、指紋認証ビジネスのリーディングカンパニーとして事業基盤の拡大を行ってまいりました。当平成 21 年 12 月期につきましては、前期の赤字を踏まえて事業の早期立て直しを図り、さらなる指紋認証事業への選択と集中を行ってまいりましたが、昨年来の急激な経済不況等の影響もあり、当第 3 四半期までの業績は予想を下回りました。しかしながら当第 3 四半期売上は当第 2 四半期を底に拡大傾向にあり、当社業績につきましては、上半期に最悪期は脱し、当第 3 四半期以降には着実に回復基調に戻りつつあると認識しております。

またコストカットによる収益体質実現のために、海外事業の縮小及び不採算事業からの撤退による人員削減等の事業のリストラチャリングを行ってまいりました。その効果によって、当平成 21 年 12 月期は前期比で約 2 億円の販管費削減の目処が立っております。

具体的に営業面では、日本ヒューレット・パカード株式会社が販売する国内 Web シングルサインオン市場No.1 製品「HP IceWall シングルサインオン」と連携した「ID Manager for HP IceWall」の販売開始(平成 21 年 9 月 8 日)などの効果により、大手金融機関等の引き合い案件も増加しております。

財務面におきましては平成 21 年 7 月 24 日に第三者割当増資の実施により 406,760 千円の資本増加及び同日に割り当てた新株予約権の一部権利行使により平成 21 年 8 月 28 日及び 31 日には 50,000 千円の資本増加をいたしました。更に平成 21 年 11 月 9 日には同月 25 日を払込日とする 70,004 千円の第三者割当増資の決議を行っております。

こうした活動の結果、平成 21 年 11 月 16 日には、会計監査人からは無限定適正意見であるレビュー報告書を受領し、平成 21 年 12 月期第 3 四半期の決算短信および四半期報告書の開示に至りました。

当社は、早期の黒字化を最大の目標と捉え、継続的なコスト削減と資本増強施策への取組みとともに、事業の選択と集中を推し進め収益率の高い指紋認証事業に注力した事業展開に努めてまいりました。特に、指紋認証関連企業、ITセキュリティ関連企業など業務提携先との協業体制を構築し、事業シナジーによる営業強化を行っております。その結果、下半期から官公庁・金融機関等の成約案件、見込み案件が増加しており、これら協業の具体的成果については状況に進展があり次第、速やかに開示を行ってまいります。

以 上